

対象国の条件：

研修コース番号 :J1804191

案件番号 :1884429

主分野課題 :保健医療/結核

副分野課題：

使用言語 :英語

案件概要

結核は依然世界的に重大な健康問題である。ストップ結核戦略、そして新世界戦略「The End TB Strategy」(2014年採択：WHA)及び「改訂版ストップ結核ジャパンアクションプラン」(2014年)に対応するために、本研修では、精度の高い検査、早期診断による結核患者発見の向上を目指し、基礎から最新技術を網羅する結核菌検査技術の習得、及びマネジメント能力の向上に向けた研修を実施する。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 研修参加者が、早期診断の強化に向け、結核/薬剤耐性結核に対応できる検査技術及びマネジメント能力を習得する。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 結核対策、結核菌細菌学について説明することができる。 2. 検査室運営方法及び検査室ネットワークシステムを理解し、検査室業務について技師へ指導することができる。 3. 結核培養検査及び薬剤感受性検査等を実施できる。 4. HIV・薬剤耐性結核に対応するための新しい検査法も含め、具体的な検査を実施できる。 	<p>【対象組織】 国または地方の基幹検査機関</p> <p>【対象人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 州レベル以上の結核検査室に勤務する上級検査技師あるいは検査担当医師で国家結核対策プログラムに係る検査業務に責任を有する者 2. 職務経験3年以上かつ帰国後3年以上検査室業務を実施する予定の者 3. 大学卒業あるいは同程度の資格を有する者 4. 過去に類似の研修に参加したことがない者 	
<p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 結核対策における結核検査室の役割、結核の免疫、世界の結核問題、結核の疫学、抗結核薬、結核の治療 等 2. 結核検査室設営、PCM・ロジスティックス、記録と報告、結核菌検査室の運営、バイオセーフティ、菌株の保存と輸送、精度保証・精度管理、検査室の認証、EQAデータ分析、塗抹評価、塗抹検査と読影の評価、教授法 UHC達成に向けた保健システムにおける検査室の役割、IS015189等 3. 結核菌培養検査・DST検査(液体、固形)、培養・DSTトラブルシューティング、培養・DSTデータ分析、同定検査、ピラジナミダーゼテスト、PNBテスト、培養・DST結果判定、DST判定練習 等 4. TB-HIV、2次薬DST、LAMP法、ラインプローブアッセイ、GeneXpert、分子生物学等 	<p>本邦研修期間</p> <p>2018/8～2018/9</p>	<p>担当課題部</p> <p>人間開発部</p>
	<p>所管国内機関</p> <p>JICA東京(人間開発)</p>	
	<p>関係省庁</p> <p>厚生労働省</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2016～2018</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>公益財団法人 結核予防会結核研究所</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		